

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
 〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
 編集・営業 ☎03-3820-3500
 FAX03-3820-3519
 総務・販売 ☎03-3820-3511
 FAX03-3820-3518
<http://www.n-mokuzai.com/>
 eメール info@n-mokuzai.com
 購読料 1ヵ月 6,200円

©日刊木材新聞社 2015
 本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

木材業界の
 羅針盤で
 ありたい
 1945年創刊
 木材建材ワイワリー
 Japan Lumber Reports

コーチパネルで大臣認定

差別化商品として拡販強化へ

コーチ

コーチ(浜松市、大畑勝裕社長)は13日、自社製造の高耐震木造軸組パネル「コーチパネル」について、木造軸組耐力壁として壁倍率4・8/4・7/4・2の国交省大臣認定を取得した。今後、公的認定の強度(耐震性)と設計自由度を差別化要素として、伊藤忠建材やプレカット事業者のポラテックなどを通じて全国へ同パネルの拡販・普及を進めていく方針だ。

コーチパネルは柱と梁の内側に納まる真壁タイプの木軸パネルで、面材、断熱材、間柱、枠材が一体化したモノコック構造が特徴。製造面はパネル用

CADに連動した切断プログラムやランニングソー、自動釘打ち機などを使って高精度化を実現している。建築現場では工期短縮化や廃材排出量の削減、近年の職人不足問題への対応という面で好評を得ており、採用企業が増加している。現在の月間生産量は35〜40棟分。

今回の大臣認定では、木造軸組耐力壁として仕様に3タイプを取得した。壁倍率4・8(認定番号FRM10517)は厚9ミリのMDFを面材に使用し、構造用LVLによる



本社工場のコーチパネル製造ライン

壁倍率4・2(FRM10518)は同じく厚9ミリのMDFで、構造用LVLで、釘ピッチは外周部100ミリ、中通り部200ミリ。壁倍率4・7(FRM10519)は厚9ミリのPBを面材に使い、釘ピッチは外周部100ミリ、中通り部200ミリとなっている。パネル寸法はいずれも幅787ない

る日の字状の枠材に對し、釘CN50を外周部80ミリ、中通り部200ミリのピッチで打ち込み接合する。壁倍率4・2(FRM10518)は同じく厚9ミリのMDFで、構造用LVLで、釘ピッチは外周部100ミリ、中通り部200ミリ。壁倍率4・7(FRM10519)は厚9ミリのPBを面材に使い、釘ピッチは外周部100ミリ、中通り部200ミリとなっている。パネル寸法はいずれも幅787ない

し802×長さ2338〜2806ミリの設定だ。同社では今回の認定取得を受け、設計段階からプランに組み込める、差別化された木造パネルとして拡販を進める方針を示した。なお大幅な増産体制の要となるコーチパネル新工場(5月14日付一面既報)は、浜松市浜北区で9月から建設を開始し、来年春の完成を予定している。